

「需給ひっ迫に係る危機管理対策会議」

令和4年6月27日（月） 10時30分
都庁第一本庁舎 7階特別会議室

【危機管理監】

それではただいまより電力需給ひっ迫注意報発令に伴います、危機管理対策会議を開催いたします。

本日は、東京電力パワーグリッド岡本副社長にもWebでご参加をいただいております。

それでは早速ですが昨日発表、発令されました需給ひっ迫注意報について私の方からご説明をいたします。

昨日、16時に資源エネルギー庁から需給ひっ迫注意報、これが発令をされました。細部につきましては本日月曜日の16時から16時半、これが広域予備率4.7%、そして16時半から17時の予備率が3.7%と、注意報発令の基準であります広域予備率5%未満に該当するというので注意報が発令をされております。

なお、本日の気象によりまして気温の上昇とそれに伴う需要の増加等によりまして、予備率が最低限必要な3%を下回り、ひっ迫警報の発令の可能性もあるということが発表されております。

次のスライドをお願いします。

スライドは本日の広域予備率の推移でございますけれども先ほど申し上げました通り、16時から16時半、16時半から17時が4.7%、3.2%ということで、非常に低い予備率になるというところであります。

それでは次にパワーグリッドの岡本副社長から、足元の電力の需給状況等についてご説明をお願いいたします。よろしくをお願いします。

【東京電力パワーグリッド】

おはようございます。東京電力パワーグリッドの岡本でございます。

この度の需給ひっ迫の関係で大変皆様に御心配をお掛けしております。また節電等含めましたアクションについて御協力賜りまして誠にありがとうございます。今、原田様からお話があった通りですが、現状、昨日の16時段階の数字を画面に表示させていただいております。当社の昨日の段階では、広域ブロックの予備率と言っておりますけれども、これが最初で3.7%ということでございまして、必要最小限と考えております3%にほぼ余裕がない状態でしたが、今朝の状態ですぐに新しい気象予測の情報を取り込みましたところ、さらに需要が上振れするという見込みでございます。

また前日より0.5度の最高気温の上昇が見込まれているということ、17時頃が一番使用

率の観点で厳しいですけれども、逆に若干そこでは太陽光出力が、昨日の想定よりも、下振れするというふうに見えておりますので、現状、国と広域下含めて、状況をさらに精査してございますけれども、3%を割り込む可能性があるという状況でございます。時間帯としまして一番厳しくなる時間帯が17時台ということで想定してございますので、引き続き情報を随時提供させていただきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。私からは以上でございます。

【危機管理監】

ありがとうございます。私からの報告と、パワーグリッドからの御説明について何か御質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは続きまして注意報発令に伴いまして、都の対応につきまして各局から報告をしていただきます。

まず、都府施設の対応につきまして環境局長お願ひいたします。

【環境局長】

はい。それでは、ページをめくってください。よろしくお願ひします。

都府施設につきましてもまず「隗より始めよ」の発想から徹底させて行つてございます。

まず5月に東京クールホーム&ビズのスタートにあわせまして、室温を28度に設定するとともに、今年の夏は廊下の2分の1消灯を行うなど、節電対策を徹底してございます。

さらに6月からは執務室内の通路スペースのさらなる消灯ですとか、一歩踏み込んだ節電を進めてございまして、各職場において都庁節電見回り隊を結成して節電管理体制も強化してございます。

この結果、6月は5月に比べて3.9%の削減となっております。

さらに、今回の電力のひっ迫を乗り切るために、エレベーターの間引きですとか、OA機器、事務機器の利用制限など、節電対策を強化して参りたいと思ひます。

庁内一丸となつて、この危機を乗り切つて参りたいと考えておりますので、御協力のほどよろしくお願ひします。以上です。

【危機管理監】

ありがとうございます。引き続き、都民事業者にお願ひする節電行動について引き続き環境局長お願ひいたします。

【環境局長】

はい。それではページをめくってください。国からの呼びかけとして、すでにお聞ひ及びのことかとございますけれども繰り返させていただきます。

昼過ぎまでは電力需給にある程度余裕があるため、暑い時間帯には適切に冷房を活用し

て、水分補給など行って熱中症にならないように十分注意していただきたい。その上で夕方 15 時から 18 時の時間帯については冷房等を活用して使っていない照明を消すなど無理のない範囲で、できる限りの節電をお願いしたいということでございます。

ページをめくってください。都民事業者の皆様には改めて繰り返しお願いしている H T T の取り組みを徹底していただくようお願いしたいと思っております。

ご家庭ではまず日頃から呼びかけている冷房の室温を 28 度設定ですとか、冷蔵庫の庫内温度を強から中に切り替えるなどの節電の行動を、改めて確認して徹底していただきたいと考えてございます。

また特に今日、需給がひっ迫している時間帯には、消費電力の大きいアイロン、電気ポットなどの家電の使用は無理のない範囲で控えていただきたいと考えてございます。

それでは、次のページで事業者の皆様への節電行動についてお願いでございます。

事業者の皆様にも空調の停止の徹底ですとか、照明照度の見直しなどを行っていただきますとともに、あわせまして今回の、特に需給がひっ迫する時間帯には O A 機器の稼働を間引いていただいたり、エレベーターの一部停止などさらなる節電に努めていただければと考えてございます。

これらの対策につきましては都庁ホームページや SNS で発信するとともに、区市町村や経済団体等にも情報提供を行ってございます。御協力のほどよろしく願いいたします。以上です。

【危機管理監】

ありがとうございます。続きまして、電力需給ひっ迫時における情報連絡体制につきまして総務局長お願いいたします。

【総務局長】

はい。総務局からは電力需給ひっ迫時における都と関係団体等の連絡体制について御説明をいたします。

電力需給ひっ迫が見込まれる場合の情報発信についてですが、2 日前に電力事業者から需給ひっ迫準備情報が発表され、また、前日以降に、国から需給ひっ迫警報または注意報が発令されることとされております。

その仕組みにつきましては、お手元の資料の通りでございます。

またこれに加えて資源エネルギー庁では、金曜日に翌週の電力の需給の見通しを発表しております。

しかしながら今回予想を上回る気温の上昇等によりまして、この見通しが大きく異なりました。

昨日、経済産業省から電力需給ひっ迫注意報が出たところでございます。

需給ひっ迫時に都民事業者の皆様が速やかに節電に取り組みますよう、電力事業者や国

からの情報が発出された場合には、各局との連携のもと、区市町村、関係団体等に迅速に情報連絡を実施して参ります。昨日の情報、需給ひっ迫注意報の発令におきましても、この示している連絡体制によりまして、周知を図ったところでございます。

今後、情報を迅速に提供できますよう、総務局といたしましては24時間体制で取り組んで参ります。

【危機管理監】

ありがとうございます。ただいまの環境局、総務局からの御報告について御質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは最後に、知事から御指示をいただきます。お願いいたします。

【小池都知事】

はい、ありがとうございます。厳しい暑さの影響の関係もあり、東京電力管内で今日の広域予備率が5%を下回るということになることから、昨日、政府は新たに設けました需給ひっ迫注意報を初めて発令をしました。

電力需給の状況、そして都の節電行動、電力需給ひっ迫時の情報連絡体制につきましても、危機管理監、そして各局長から報告があった通りでございます。

各局においては、まさに都民に対して、隗より始めているということも伝える、そういう意味で、都府施設におけるもう一段の節電に取り組んでください。

また、区市町村、関係団体等との連携のもとで、熱中症に留意しながら、都民事業者の皆さんに節電行動に御協力いただくよう、積極的な情報発信に努めていただきたい。

なお、経済産業省、東京電力には正確な情報を迅速に提供するよう申し入れをして参ります。電力のひっ迫を乗り切るために、全庁一丸となって、しっかりと頑張って参りましょう。よろしく申し上げます。

【危機管理監】

ありがとうございました。以上で需給ひっ迫注意報発令に伴う危機管理対策会議を終了いたします。

以上